

## 湘南地区連絡協議会 第4回幹事会（報告）

日 時 2020年07月12日（日） 10:00～12:30

場 所 Fプレイス 304号室

出席者 萩原和・小久保・萩原弘・望月・鈴木善・鈴木政・西井・志田・宮川・桑原・安西（11名）

大矢藤沢市議会議員・橋本事務局長（湘南地域連合）

藤沢市Fプレイス304号室にて第4回幹事会が開催され、11人が出席しました。また、大矢市議会議員、湘南地域連合橋本事務局長にも出席いただき、藤沢市の現状や政策制度要求について意見交換を行いました。



萩原議長は、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で各組合での交渉や諸会議と大変苦勞されていると思いますが、今後もうまく付き合いながら活動を展開してほしいと述べました。

経過報告は3項目を確認しました。

### 1. 第2回役員会

○神奈川交運労協・湘南地域連合を通じた政策・制度要求について中間まとめ、たたき台を制作しました。

### 2. 第3回幹事会

○初めての書面会議でした。皆さんからの意見を集約しました。その結果が、レジュメ5ページから9ページに記載しています。

### 3. 藤沢市道路調査

○レジュメ2ページから4ページ。前回の要求で改善された箇所がある。レジュメ16ページ⑤番、クリエイトの奥に恒陽マンションがあり、隣接する公園からの飛び出し注意の「注意喚起」の看板設置を求めています。今回の検証調査で改善されていることを確認しました。

協議事項については5項目を確認し、制度政策については意見交換を行いました。

### 1. 神奈川県連第53回定期大会について

- ①大会開催日は、9月27日（日）13時より開催予定です。3密を回避するために、会場を変更しパシフィコ横浜にて開催することになります。
- ②湘南地区連絡協議会の経過報告書については、レジュメ通りの構成、変更箇所を確認しました。また、1年を振り返りについては、萩原議長と大矢市議会議員にお願いすることになりました。

## 2. 湘南地区連残金の活用について

○湘南地区連絡協議会の各種行動残金については、今期分は今期で処理することとなり、下記の通り意見が出されました。結果、藤沢市医療従事者への支援カンパに決定しました。

（意見）①交通遺児糧の会へのカンパ ②藤沢市医療従事者への支援カンパ ③幹事全員にマスクの配布

## 3. 今後の活動予定について

○確認しました。



途中、室内の換気を取るために一旦休憩に入りました。

## 11時再開

大矢藤沢市議会議員と橋本事務局長（湘南地域連合）にお越しいただきました。

## 4. 地域連合を通じての政策・制度要求について

湘南地域連合橋本事務局長より、冒頭、自治労組織内の『おおや徹』への日頃からのご支援に感謝が述べられ、地域連合の政策・制度要求について説明されました。

○2市1町への『政策・制度』は来年の予算に反映できるようにまとめている。要求作りについては、5月にアンケート調査、集約。連合神奈川との調整を行っています。今期、新型コロナウイルス感染症の影響で、緊急事態宣言が出されている中で、毎年膨大な要請を出すよりも、連合神奈川の要請に新型コロナウイルス感染症の対策などを入れた要請にと5役の中で話し合っています。



と言っても、運輸労連さんについては、「早い段階から提言をまとめている」と萩原議長より聞き、今回は、連合神奈川の大きなフレームの政策・制度提言と運輸労連さんの政策・制度要求は個別に出させていただくことになりました。

連合神奈川地域連合統一要求（案）（地域連合文書）を明日、各幹事に配布し意見を聞き反映していきたい。具体的には、統一要求と新型コロナウイルス感染症で困っていることなどを盛り込んで行いたいと思っています。

地域連合へいただいている政策・制度要求について、（参考資料 運輸労連 2021 政策制度要求 行政側との調整イメージ）要請に対して、これまでの経過や事務局見解等で各項目を評価し提言内容につなげています。これからも、各組合からいただいた提言は丁寧に進めていきますので、ご協力をお願いいたします。

## 5. 藤沢市政報告（政策・制度要求について含む）

大矢藤沢市議会より市政報告と運輸労連の政策・制度要求について、藤沢市の現状、対応などを一括で説明をいただき、出席者から多くの意見が出されました。

○藤沢市でもポツポツですが感染者が出始めました。昨日、20台の女性の方ですが、72人目、毎月様に出ています。議会も、質疑等は半分が会議場へ半分が別室でモニター傍聴をするなど対策を取っています。

コロナウイルス感染症を受け。市長をはじめ特別職が給料削減を行いました。議会も報酬2万円カット。政務活動費3万円カット。が来年の3月まで削減することが決まりました。

政務活動費は『貫徹通信』に使われていますが、年4回配るのが難しくなってしまう。

新たな事業でプレミアム商品券、藤沢市独自のもの、5万円の購入で6万5千円になるもの、しかし、今回のコロナ禍の中で、本当の困っている観光や飲食店にそのお金が回るか？前回のプレミアム商品券では、観光・飲食に流れるのは2%程度でした。趣旨に合うのか疑問なところです。



大矢藤沢市議会議員

## 運輸労連の政策・制度要求について（レジュメ 18 ページから）

○自転車関連について、駐輪場は不足している。地下式の IC カードでの出入りが可能な施設を求めている。

道路の路面整備については、現在の道路環境では難しい状態で、基本は矢羽根型路面（道路左側の三角っぽい矢印）になっている。唯一、藤沢～辻堂間で進めている。

自転車の安全教育については、形骸化しているように思う。現状、自転車の走行で右側走行〇%、左側走行〇%といった調査に基づいて目標を設定し行うべきだと思います。

自転車の点検について、行政ではやっていないが、『交通安全対策協議会』で、無料点検をしている。あまり知られていないので、もっと周知していかなければいけない。

ヘルメットの助成は必要と思いますが、これからの財政を考えると、どれだけの方が必

要なのか？把握が必要。

●自転車の走行は自由気まま、取り締まりの強化をお願いしたい。

○取り締まりの強化が一番。警察も人が足りない状況。

●条例で損害賠償保険の加入は努力義務？義務？

○義務化になっているが、県条例を周知するしかできない。保険は、個人で選べるので購入時に選択するものでもない。

●車両として取り扱っているのに、自賠責みたいなものが必要ではないか。

●チェックの仕方についても、駐輪場の月極の更新時には必要とすれば、進むのではないか？

●『交通安全対策協議会』などでも、保険加入を確認する等もできるのでは？

●自転車を買うとき、駐輪場を利用するとき、学校に通うときなど、保険にはっていない車両はダメとルール付けするべき。

●購入時に保険もついてくる。その保険料は自転車に込みの値段にすればいいのではないか。

○受動喫煙対策について、人の導線から外すようになっている。『喫煙禁止区域』での喫煙は過料の対象。指導員の配置の問題もあり全地域には行き届かない。

病院・学校・行政施設の敷地内は全面禁煙になっている。学校の周りに喫煙禁止の看板等の設置などが考えられる。

分煙対策に係る設備費用の助成については、店舗の広さなどの調査をしていると聞いている。状況等調べておきます。

●4月1日より健康増進法の関係で遊戯施設でも禁煙になった。吸う場所をもう少し増やしてほしい。

●屋内禁煙、吸う人は外で喫煙をすることになる。どこでも喫煙してしまう状態。吸う場所、病院はともかく、学校や市の施設で据える場所を設けるべき。

●歩きたばこは少なくなったように思う。しかし、路地に1本の吸い殻があると、そこでみんなが吸うことになる。吸えない環境が必要。

○市の関係は、環境課と保健所、保健所は喫煙率0というっているので、以下から分煙に戻すことは難しい。

●我慢すればいい！

●飲食店等で、灰皿は敷地内であって、吸う場所は敷地外の路上。これは良いの？

○敷地内の喫煙場所には、いくつかルールがある。喫煙禁止区域外であれば吸えることになる。

●公共の場所というのは、自宅や民地以外は公共の場所になるので、吸えないのではないか。公園などでも、子供が遊んでいても平気で吸っている。注意喚起もない。

○自治体によって対応が違う。公園については広域行政で行うべきだと思います。注意喚起も確認します。

●保育園からの要望で、団地内の公園で遊ばせている。その中での喫煙はダメなら、注意喚起は必要。

○藤沢市は子供たちの健康被害を考える自治体なら、そういった対応になるが、そうで

ないところはなっていないのだろう。

○選挙関連について、インターネット選挙は本人確認ができないので中々進まない。投票率の向上は、中高校で『主権者教育』が必要と思います。

●今現在の投票の仕方は半券を持って、住所録と合わせるだけ、マイナンバーを使った投票であれば、本人確認は確実にできる。マイナンバーを他人に教える人はいない投票用紙もマークシート式で行なえば機械で集計できる。

○公選法を調べてみます。

○高齢者安全運転支援装置設置促進事業補助金について、現在は、国だけになっていますが、議会でも上がっています。しかし、藤沢市の政策とリンクしていないことから進まない。事故を減らすためには必要と思っています。

自主返納者へのサポートについては、Suica・PASMO等は買い物も利用できることからバス会社と連携し事業者に助成するやり方もあるのではないかと。

○交差点の車止め等、55箇所改善しました。歩行者を守る対策を講じる。

○OGマークについては、継続的に進めたい。

ゴミの収集に係る安全対策について、道路維持課の市職員からアルコールチェックを行うこととなっている。これから環境職場のパッカー車についても拡充する。

委託業者には今後、作業仕様書の中で進めることになる。

○不妊治療の保険適用について、国・県への陳情は、連合の厚生労働委員会の国会議員へ投げかける方がいい。藤沢市でも助成は変わっていない。実際に受けられた方の声が反映されれば一番いいのでしょうか。

○国民運動を浸透させるのは中々難しい。周知・啓発はしなければいけないが、真剣さが足りないように思う。どれだけ普及されているのか？

●新しいマンションや住宅は備え付けが多い。

●クロネコメンバーズは良くできている。配達日の変更もできるので、利用する側がキチンとすればいいのではないかと？メンバーズの促進の方が早いのでは？

●再配達の手取料を取ればいい。



12:30 意見交換を終え、萩原議長より『藤沢市医療従事者応援寄付金箱』に寄付しました。